

SUWA

諏訪

展示場



通り土間がつなぐ

二世帯の暮らし

家族の距離感というのは、「のりしろ」に似ていて、
重なりが大きすぎても、小さすぎてもうまくいかないものです。

だから家づくりのとき「のりしろ」づくりがうまくいくと、気持ちのいい暮らしができます。

この家でその役割を担うのは、通り土間です。

おのおの自適に暮らしながら、いつも気持ちが通じ合う、そんな二世帯住宅ができました。





美しい片流れの屋根のライン 庭をじっくり楽しめるウッドデッキ

穏やかさ、おおらかさを思う外観です。

落ち着きと広がりがあり、

庭の緑とは、昼も夜も好相性です。

1階の家族団らんの間から張り出したウッドデッキで、

その緑と打ち解けましょう。

深い軒があるので雨の日も目を楽しませてくれます。

ゆるやかな片流れ屋根と下屋のラインからなる印象的な外観は、水平窓がボリュームを抑え全体のまとめ役に。屋根の厚みを抑えるために、垂木の向きや先端の加工、下屋の雨押えの納まりなど細部までこだわり抜いた。すっきりシンブルな佇まいは、細やかなディティールの積み重ねによって完成する。



地元・諏訪市内の山で採取した鉄平石をアプローチに敷き詰めた。鉄平石は、板状にはがれやすく特有の表情があり、諏訪地域の厳しい寒さや積雪にも強い。玄関から通り土間にかけてはテラコッタタイル敷きで、優しいページュカラーが、家族が集り団らんの場に相応しい。



広縁の床は「なぐり仕上げ」。本来は下処理であった職人の加工跡をあえて残し、それを味わいとみなす。そこに日本ならではの美意識を見出し、なぐり加工を意匠的なこだわりへと昇華させたのはかの千利休だった。技術が未熟だと逆目になりさくれば立ち、上手すぎると自然な風合いを損ねる、職人技が試される仕上げ。

自分たちの暮らし方を大事にしながら、 しかも互いを思いやりながら

メインのダイニングでは、

家族いっしょに食卓を囲みながら、

親世代の暮らしやすさ、子世代の暮らしやすさ、

どちらの生活スタイルも尊重して、

それぞれの空間を確保しています。

いっしょに暮らしているけど気兼ねしない、

離れているようにだけいつも互いを思い合う、

家族のあり方を大切にしています。



寝室の奥には、高い意匠性を備えた書斎を設けた。麻布に漆を塗った床、柿渋和紙を張った壁、スリットの入った建具。上質な質感にこだわり抜いたシックな大人の隠れ家で、籠るひと時間を楽しんで。

諏訪展示場

PLAN



DATA

左右分離二世帯住宅
延床面積 218.26㎡ (66.02坪)
1F面積 152.57㎡ (46.15坪)
2F面積 65.69㎡ (19.87坪)

CONCEPT

外観も内装も、一切の無駄のないすっきりとした納まりを極めた家。水平ラインの美しさとシンプルさを追求したこの家は、現場代人曰く「木枠の数珠つなぎの家」。詳細な納まりの施工図を描こうとしても、すべての箇所が連動し、部分的な図面には収まりきらない。なかでも、ウッドデッキ前の鴨居は8mもの長さの杉材で、それだけでも見ごたえのある美しさ。



設計

田中敏博さん

長野中央展示場・上田展示場に続き、工房信州の家では三棟目の展示場設計。いい家に欠かせないものとして、「いい関係の向こう三間両隣り」を提唱し、街づくりへの造詣も深い。

所在地／諏訪市沖田町5-79
諏訪住宅公園内
TEL／0266-78-8931
営業日／木～日・祝
営業時間／10:00～18:00



カーナビ施設検索
「諏訪住宅公園」





伊那 展示場

木組みの経年美を味わう
「心解き放つ住まい」

ゆるやかな傾斜の大屋根に、家族が守られているような安心を感じる住まい。

室内に入れば、木組みの美しさに惹きつけられます。

その風格は、本物の材を使った民家だから出せるものです。

一方、機能面では現代の住み心地にも気遣い、

また縁側代わりの土間サロンを設けるなど、

信州らしい風景によく似合う和モダンな二世帯住宅です。

人生の折り目節目を気にかけて 暮らす家族のために

どんなに時代が移っても、

季節を感じる心や

人生の折り目節目を大事に過ごしたいものです。

たとえば和室は、ハレの空間であることを意識して、

板の間のリビングより一段高くしました。

雪見障子越しの庭の眺めは、折節のどんな物語で

お客様をおもてなしすることでしょう。



現しの太鼓梁と和紙張りの天井に間接照明が映える、
品格の高い10畳の和室。

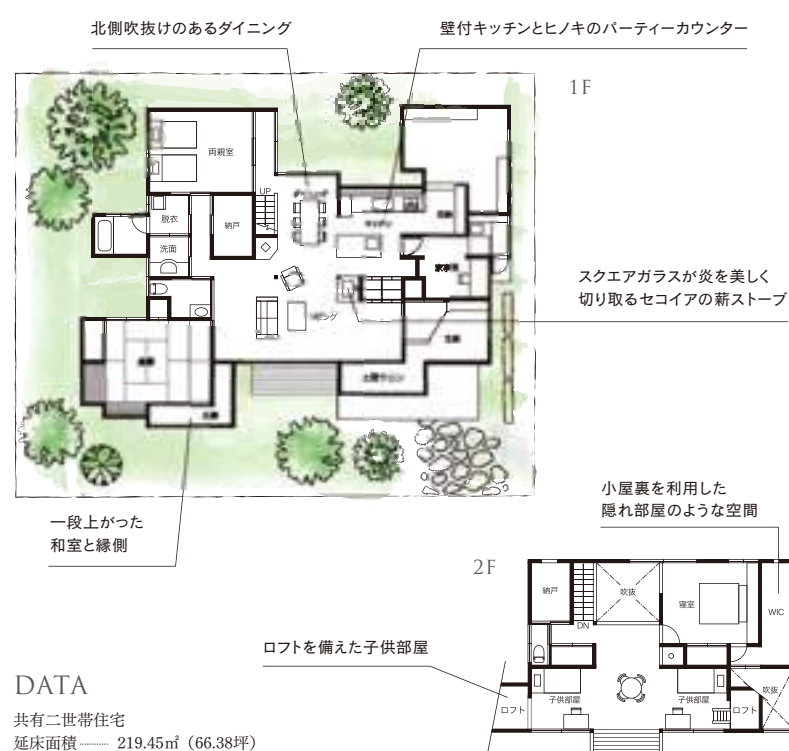


手掘りの大きな太鼓梁は、旧長谷村(伊那市)の山から伐り出した樹齢300年のコメツガで、今や入手不可能な貴重な材。床と天井にはカラマツを用い、柔らかな材で足触りが心地良く、築17年を経てぐっと色味を濃くした風合いが和の空間の趣を一層深めている。しっとりとした質感の漆喰壁とも抜群の相性。外観は一字字瓦の大屋根で、軒先の美しいラインが印象的な佇まい。



伊那展示場

PLAN



DATA

共有二世帯住宅
延床面積 — 219.45㎡ (66.38坪)
1F面積 — 154.26㎡ (46.66坪)
2F面積 — 64.59㎡ (19.54坪)

CONCEPT

自然と共生する古来からの建築の思想を見直し、信州の家づくりの原点を見つめた家。その土地その風土に合った木の使い方、家のつくり方、住まい方とは何か。先人の知恵を拝借し、現代の暮らしに合わせて再構築することで、信州に住まう喜びに満ちた「心解き放つ住まい」になる。日本建築の第一人者である吉田桂二氏に学びながら、信州らしい家づくりの第一歩を踏み出した、工房信州の家の原点となる一棟です。



設計
吉田桂二さん

岐阜県生まれ。日本建築の第一人者であり、環境共生住宅を提唱し、また日本の伝統建築、伝統家具を後世に伝承する取り組みにも尽力した。2015年12月逝去。

所在地／伊那市下新田3044-1
伊那ハウジングセンター内
TEL／0265-74-2280
営業日／土・日・祝 ※平日の見学希望はお問合せください。
営業時間／10:00～18:00



カーナビ施設検索
「伊那ハウジングセンター」

